Internet Explorer7 または 8 を使用し、HTTPS で RC3008 にアクセスする場合、最初にルート証明書をインストールする必要 があります。以下の手順を行ってください。

1. ブラウザでRC3008の設定画面を開き、左側メニューの[通信設定]をクリック、[SSH/SSL設定]の画面を開き、[SSL設定] をクリックします。[SSL 証明書 保存/読込]画面が開きます。



2. [機能設定]の[HTTPS]の[有効]をチェックします。

🄗 PDU-OM Web Console [Noname] - Windows Internet Explorer	🔳 🗖 💌
G ← 2 http://192.168.10.1/	Yahoo! Search
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルブ(E)	
😭 🏟 🌈 PDU-OM Web Console [Noname]	🏠 • 📓 - 🖶 • िぺージ® • ◎ ツール◎ • *
RC3008	証明書 保存/読込
状况表示項目	
簡易情報表示 通信設定 通信詳編	職定 SSH/SSL設定 メール設定
監視状態表示 SSH設定 SSL	安定
電力計測表示	
ログ表示SSL証明書保存/読込	
制御項目	
電源制御 CSR 証明書要求	
設定項目 SRVRCERT 証明書発行	機関により発行された証明書を表示
基本設定 CACERT ルート証明書	を表示
通信設定 ファイル保存は表示ボタンを押した後	にブラウザの名前を付けて保存を行って保存してください。
スケシュール設定	
HTTPS 07	■ ○無効
admin	
40000 証明書要求 (CSR)	
和種	
	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →
	100 🐨 122 - A91 🖓 1000

3. [証明書要求(CSR)]と[証明書要求(CA)]に必要な情報を入力します。

C PDU-OM Web Console [Nona	me] – Windows Internet Expl	orer	
🚱 🕤 👻 🙋 http://192.168.10.1/		Yahoo! Search	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気(こ入り(白) ツール(① ヘルプ(日)		
🚖 🎄 🌈 PDU-OM Web Console [Noname]	☆ • 🔊 - 🚔 • 🗟 ページ@	• @ツール@) • »
7///チコン//ロー//コンセン/ RC2008 状況表示項目 簡易情報表示 監視状態表示 電力計測表示 ログ表示 制御項目 電源制御 の学って日	証明書要求(CSR) サーバー名 組織 部署 都市 都道府県 国 E-MAIL	OMRONI SSL1 TESTI MINATO TOKYO JP omron1@omron.co.jp	
基本設定 通信設定 監視設定	証明書要求(CA)	※半角英数で登録してください。	
スケジュール設定 システム情報 PING送信 CPI/Uセット	サーバー名 組織 部署	OMRON2 SSL2 TEST2	
admin <u>A0m0n</u> 192.168.10.200	都市 都道府県 国 	KITA OSAKA JP omron2@omron.co.jo	
D770F	L. OF UL	※半角英数で登録してください。	~
			🔍 100% 🔻 💡

サーバ名:サーバ名を入力します。63文字以内の半角英数文字で任意のサーバ名を入力します。

組織: :組織名を入力します。63 文字以内の半角英数文字で任意の名称を入力します。

部署:部署名を入力します。63文字以内の半角英数文字で任意の名称を入力します。

都市 :都市名を入力します。63 文字以内の半角英数文字で任意の名称を入力します。

都道府県:都道府県名を入力します。63文字以内の半角英数文字で任意の名称を入力します。

国 :国名を2桁のコードで入力します。あらかじめ「JP」が入力されているので変更する必要はありません。

E-MAIL :メールアドレスを入力します。63 文字以内の半角英数文字で任意のメールアドレスを入力します。

【入力時の留意点】

生しません。

- ① CSRとCAのサーバ名は同じものにしないでください。同じものにした場合は、HTTPS 接続ができません。
- ② CSRのサーバ名とRC3008のIPアドレスが一致しない場合は、ブラウザで[証明書のエラー]が表示される場合がありますが、このままご使用いただいても問題はありません。 DNSサーバを使用している環境にて[サーバ名]からRC3008のIPアドレスを参照できる場合は、上記事象は発

4. [適用]ボタンをクリックします。これで設定に必要な情報が RC3008 に書き込まれました。

😋 🕢 👻 🙋 http://192.168.10.1/		Yahoo! Search	2
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り	(A) ツール(T) ヘルプ(H)		
🎓 🏟 🌈 PDU-OM Web Console [Nona	me]		· 🍈 ツール(Q) •
	部著	TEST1	
マルチコントロールコンセント	都市	MINATO	
	都道府県	ТОКУО	
1人次表示項日	E	JP	
間場所開設表示	E-MAIL	omron1@omron.co.jp	
新祝4A悲欢小 第十年初期末二			
电力主要		※ 千月央観で登録していたでい。	
日ノ収示			
電行制が知	[明書要求(CA)		
·····································	11 15 47	(auguste)	
其大設定	リーハー名	OMRON2	
通信設定	相職	SSL2	
監視設定	部者	TEST2	
スケジュール設定	都巾	KΠA	
システム情報	都迫附导	OSAKA	
PING送信	<u></u>	JP	
CPUUZVA	E-MAIL	omron2@omron.co.jp	
nimbe		※半角英数で登録してください。	
Admin			
192.168.10.200		(適用) (リセット)	
ログアウト			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
4			
		🔂 😂 インターネット	€ 100% •

5. 設定した情報を使用して、証明書を作成します。証明書は、コマンドを実行して作成します。

RC3008とPCを COM で接続、コマンドプロンプトやターミナルソフトで RC3008 に以下の 3 つのコマンドを順番に実行して ください。

SSL MAKE CSR SSL MAKE CACERT SSL MAKE SRVRCERT

【コマンド実行時の留意点】

「SSL MAKE CSR」および「SSL MAKE CACERT」の実行には数分の時間がかかります。「220 Command OK.」と表示されるまで、そのままお待ちください。

(1) Telnet 接続の場合

🚳 Telnet 192.168.10.1	- 🗆 ×
Noname> SSL MAKE CSR 220 Command OK. Noname> SSL MAKE CACERT 220 Command OK. Noname> SSL MAKE SRVRCERT 220 Command OK. Noname>	

(2) COM 接続の場合

COM 接続の場合は、コマンド実行の進捗状況が表示されます。

🍓 RC3008 – ハイパーターミナル 📃	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(I) ヘルブ(H)	
D 🚔 🍘 🕉 🗈 🎦 🖆	
borning: 112 Maile C28 120 Commerci US Bongton - 131 MARE CASED: 210 Commerci ON. Marrise - 112 Maile SiVinitit 220 Commerci ON. Marrise -	
	>
接続 007:56 自動検出 自動検出 SCROLL CAPS NUM キャ エコーを印	122

6. ルート証明書をファイルに保存します。[CACERT]の[表示]をクリックしてください。

🖉 PDU-OM Web Console [Noname] - Windows Internet Explorer
🚱 🕞 👻 🖗 http://19216810.1/
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り(A) ツール(D) ヘルブ(H)
🚖 🏟 🌈 PDU-OM Web Console [Noname]
マルチコントロールコンセント RC3008 SSL証明書保存/読込
状况表示项目
簡易情報表示 通信設定 通信詳細設定 SSH/SSL設定 メール設定
監視状態表示 SSH設定 SSL設定
電力計測表示
ログ表示 SSL証明書保存/読込
ファイル保存は表示ボタンを押した後にブラウザの名前を付けて保存を行って保存してください。
スケジュール設定
ジステム情報 機能設定
PING送信
admin
40000 証明書要求(CSR)
知識 SSI1
🐻 🕒 ብンターネット 🔍 100% 🔹

7. ルート証明書が表示されますので、ブラウザの[ファイル] ⇒ [名前を付けて保存]で任意の場所に保存してください。



8. RC3008の CPU リセットを実行してください。

左側メニューの[CPU リセット]を繰クリックすると[CPU リセット]画面が表示されますので[CPU リセット]をクリックします。



9. 確認のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。RC3008 が再起動します。



10. ブラウザへの証明書のインストール

ブラウザのメニューの[ツール] ⇒ [インターネットオプション]を選択してください。

[インターネットオプション]の画面が表示されますので、[コンテンツ]タブにある[証明書]をクリックします。

インターネット オプション	?×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 コンテンツ アドバイザ)内
<u>有効にする(E)</u> 証明書 暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。	-
SSL 状態のクリア(S) [証明書(C) 発行元(B) オートコンプリート	
オートコングリートによって、Web ページで前回 入力した内容を、入力中に補完できます。 フィード	
フィードによって Web サイトで更新された内容 が提供されます。Web サイトは Internet Explorer や他のプログラムでも読むことができま す。	
OK キャンセル 適用	

11. [証明書]の画面が表示されますので、[インポート]をクリックします。

証明書							?×
目的(N)	e.	(ৰুমান্ত)					~
個人	ほかの人	中間証明機関	信頼されたルート	11月機関	信頼された発行元	: 信頼されない発行元	
発	行先	発行者	ŧ	有効期間	し フレンドリ名		
インポ	<u></u>	エクスポート(E)					(<u>A</u>)
一言止日月君	野の目的						
						表示公	
0						閉じる(0
						[J

12. [証明書のインポートウィザード]が始まります。[次へ]をクリックしてください。



13. インポートの画面が表示されます。[参照]をクリックしてください。

明書のインボート ウィザード	
インボートする証明書ファイル インボートするファイルを指定してくださ	(۱.
ファイル名(E)	参照(R)
' 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイノ	いに複数の証明書を保管できます。
Personal Information Exchange	∋- PKCS #12 (PFX.P12)
Cryptographic Message Synta:	< Standard- PKCS #7 証明書(P7B)
Microsoft シリアル化された証明	書ストア(SST)
	< 戻る(B) (次へ(N)) キャンセル

14. [ファイルを開く]のダイアログが表示されますので、8. で保存したルート証明書を選択してください。

ファイルを開く					? 🛛
ファイルの場所(1):	🞯 デスクトップ		~	3 🗇 📂 🛄•	
していたファイル	 □ マイ ドキュメント □ マイ コンピュータ □ マイ ネットワーク 				
デスクトップ	B cacert.txt				
کر انجا ۲۲ انگ					
ער דאר דא 😨					
	<				>
⊽イ ネットワーク	ファイル名(<u>N</u>): ファイルの種類(<u>T</u>):	cacert.txt すべてのファイル (**)		* *	開(0) キャンセル

15. [証明書ストア]の画面が表示されるので、[証明書をすべて次のストアに配置する]をチェックしてから[参照]をクリック してください。



16. [証明書ストアの選択]が表示されるので、[信頼されたルート証明期間]を選択して[OK]をクリックしてください。

証明書ストアの選択	? 🔀
使用する証明書ストアを選択してください(©)	
個人 「言頼されたルート証明規規想」 エンタープライズの信頼 一 中間証明機関 一 信頼された発行元 一 「言頼されていない証明書	
 物理ストアを表示する(S) OK OK	キャンセル

17. [証明書ストア]画面に戻ったら、[次へ]をクリックしてください。

明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステ、	ム上の領域です。		
Windows に証明書ストアを自動的に選択さ	せるか、証明書の場所	所を指定することができま	ます。
○証明書の種類に基づいて、自動的に	証明書ストアを選択す	12(U)	
● 証明書をすべて)次のストアに配置する	(<u>P</u>)		
証明書ストア			
信頼されたルート証明機関			参照(<u>R)</u>
	< 戻る(8	$\sum_{i \in \mathcal{N}} (\underline{N}) >$	」 キャン

18. [証明書のインポートウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックしてください。



19. 下記のセキュリティ警告のポップアップ画面が表示されます。[はい]をクリックしてください。



20. 下記のポップアップ画面が表示されたらインポートは完了です。[OK]をクリックしてください。



21. 正しくインポートできているかどうかを確認するためには、[証明書]画面の[信頼されたルート証明機関]タブをクリックしてください。[発行先]と[発行者]に、4. で入力した[証明書要求(CA)]のサーバ名が表示されていたら HTTPS で RC3008 にアクセス可能となります。

発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名	
NetLock Kozjegyzoi	NetLock Kozjegyzoi (2019/02/20	NetLock Kozjegy	
NetLock Uzleti (Cla	NetLock Uzleti (Class	2019/02/20	NetLock Uzleti (
MO LIABILITY ACC	OMBON2	2004/01/08	verisign Time St	
PTT Post Root CA	PTT Post Root CA	2019/06/26	KeyMail PTT Po	
Saunalahden Serve	Saunalahden Serveri	2019/06/26	Saunalahden Ser	
🔤 Saunalahden Serve	Saunalahden Serveri	2019/06/26	Saunalahden Ser	
Secure Server Cert	Secure Server Certifi	2010/01/08	VeriSign/RSA S	
(ンポートロ) [エクスポー	-ト(<u>E)</u>) [削除(<u>R</u>))		【詳細設定(4
明書の目的		-		<u> </u>

22. ブラウザで URL アドレスに「https://192.168.10.1/」(RC3008 の IP アドレスが 192.168.10.1 の場合)と入力して RC3008 にアクセスしてください。RC3008 の設定画面が表示されたら、HTTPS 接続できていることになります。

備考

以下の画面が表示された場合は、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックしてください。



RC3008 と https 接続した場合に、以下のように[証明書のエラー]が表示されますが、このままご使用いただき問題はありま



RC3008 の IP アドレスと、[証明書要求(CSR)]で設定した[サーバ名]の IP アドレスが一致しない場合、上記事象となります。 DNS サーバを使用している環境にて[サーバ名]から RC3008 の IP アドレスを参照できる場合は、上記事象は発生しません。

オムロン株式会社 K1L-D-10037A